

情報コーナー

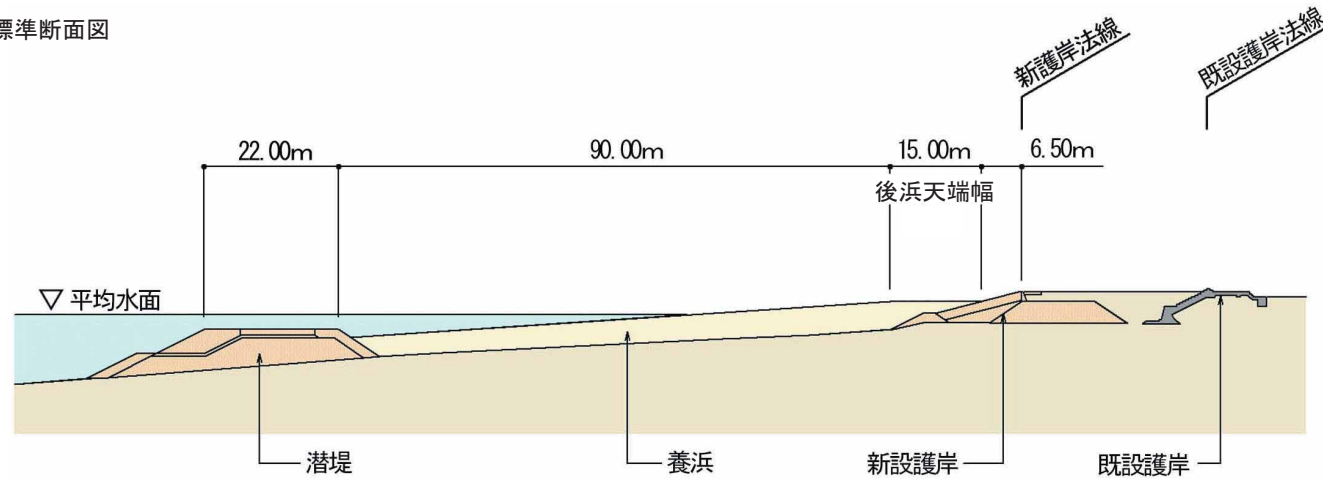
【餅ヶ浜地区】

○計画の概要

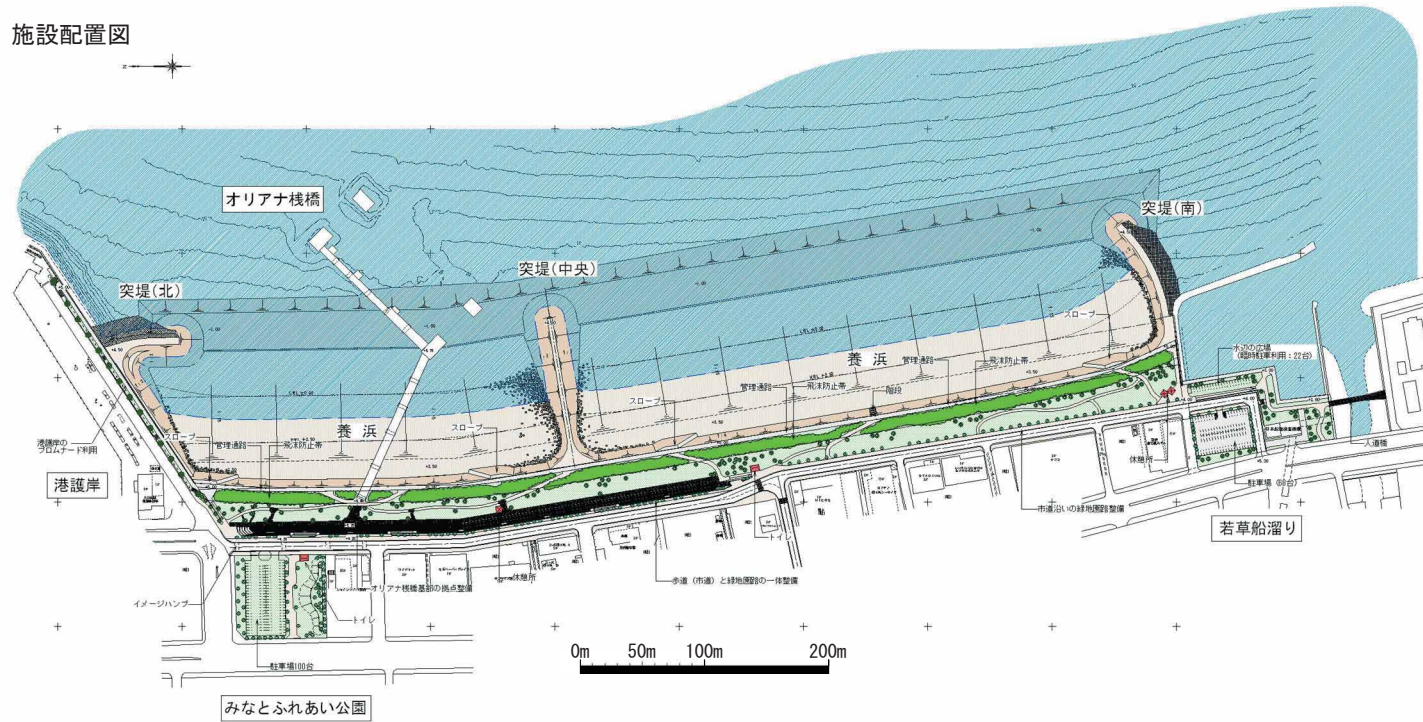
餅ヶ浜地区の計画の概要を紹介します。

餅ヶ浜地区では、新設する緩傾斜護岸から、約110mの位置に波高を低減する潜堤を整備します。潜堤は、干潮時でも水面上に見えない高さに抑えています。また、潜堤と護岸の間に、波力を減衰させるための養浜を整備します。これらをあわせた幅約130mの面で波の力を弱め、護岸と一体となって背後地を防護します。この方式は、これまでのように護岸だけで護る線的防護と対比して面的防護と呼ばれています。面的に整備を行うことにより、景観や利用に配慮した親しめる海辺の創出が可能となります。

標準断面図



施設配置図



おしらせ

【今後の予定】

平成16年度の検討は、3月25日の第4回ワークショップで終了させていただきます。平成17年度も、引き続き「委員会」「幹事会」「ワークショップ」による検討を進め、秋頃には計画案をまとめ、広く市民の方々にご理解をいただくためのシンポジウムを企画しております。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

※別府港海岸の整備に関する情報は下記別府港湾・空港整備事務所ホームページに随時掲載していきます。是非ご覧下さい。  
<http://www.beppu-port.go.jp/>

# 別府里浜づくり新聞

第6号  
平成17年  
3月25日

## 第3回 別府港海岸整備検討委員会 幹事会を開催しました



別府港海岸（北浜地区2）の整備基本計画（案）策定にあたり、行政、専門家及び住民代表からなる第3回別府港海岸整備検討委員会の幹事会を平成17年3月1日（火）午後1時30分より、別府市内のホテルニューツルタで開催しました。

今回の幹事会では、今までに行った幹事会及びワークショップでの検討内容を踏まえ、特にC案及びC'案について、各整備案の課題、今後の方向性等について検討して頂きました。

### 第3回 幹事会の概要

幹事会では討議に先立ち、第2回幹事会での議事確認、整備計画案に対する第3回ワークショップでの市民の皆様の提案・意見について事務局から報告し、確認して頂きました。続いてC案及びC'案について、簡易水理実験結果を基にした護岸天端高と基礎天端高等を比較検討した構造形式について、事務局から報告と説明を行いました。

討議では、これまで開催された幹事会・ワークショップでの意見を踏まえ「利用」「環境」「景観」について、より具体的に専門的な討議が行われ、今後の検討に対する方向性が確認されました。

### 第3回 幹事会でのご意見

- 討議では以下のご意見がありました。
- 基礎天端における親水性について
    - ・沖合いから基礎天端が見えると冷たい感じがするので天端は常時水没している方が良い。
    - ・整備した基礎天端を利用すると、滑って怪我をするのではないか。
    - ・護岸天端から魚が泳いでいるの見える範囲であれば、若干天端が高くなっても問題ないのではないか。
  - 水産協調について
    - ・既設消波ブロックは構造から、魚類には効果があるが、<sup>ほふく</sup>匍匐生物（アビ・サエ等）には効果がない。
    - ・水産協調の観点からは、平均干潮面よりさらに1m程度深い基礎天端高とし、出来るだけ広く確保した方が効果的である。
    - ・構造物の安定を考慮すると、幅広の基礎構造が望ましい。

### <第3回 別府港海岸整備検討委員会 幹事会 会次第>

1. 開会
2. 委員の紹介
3. 議事
  - 3.1 資料説明
    - ・これまでの経緯の確認
    - ・護岸構造の検討（防護と景観・利用・水産協調）
    - ・C案またはC'案への絞込みについて
    - ・平面計画作成について
  - 3.2 討議
4. その他
5. 閉会

### ○各整備案



### 第1回別府港海岸整備検討委員会を開催しました

別府港海岸（北浜地区2）の整備基本計画（案）策定に向け、第1回委員会を平成17年3月15日（火）に竹の井ホテルで開催しました。

委員会は、小島治幸九州共立大学教授を委員長とし、学識経験者、地元有識者及び行政機関で構成し、防災を基本としつつ地域的・社会的ニーズに対応した魅力的な海岸

を創出するための基本計画（案）を検討し、その妥当性について確認する組織です。事務局が、「委員会」「幹事会」「ワークショップ」による今回の検討体制とスケジュールを説明し、了承されました。

平成13・14年度に検討された4つの整備計画（案）の比較検討について、事務局から説明を行いました。また2回の幹事会及び2回

のワークショップでの議論を経て、4案から2案に絞られていることもあわせて報告しました（下記の「4案の比較検討の経緯」参照）。北浜地区の特徴や別府港海岸における位置づけを踏まえ、C・C'の2案に絞ることは妥当であるとの確認をしていただきました。

さらに、2案の護岸構造について、事務局から説明を行いました。2案は、「海辺に降ろす案」「海辺

には降ろさない案」という相違があります。「観光利用を考えると海辺に降りられることが望ましい。」「安全管理やごみの漂着などを考慮すると、沖に岩が見える程度で降ろさなくても良い。」などの意見が出されました。防護上の効果や水産協調の効果なども含め、さらに詳細な検討を行うことが確認されました。

### <第1回 別府港海岸整備検討委員会 会次第>

1. 開会
2. 委員の紹介
3. 発注者挨拶
4. 委員長挨拶
5. 議事
  - 資料説明
    - ①検討の体制
    - ②4案の比較検討・絞り込み
    - ③C案及びC'案について
6. その他
7. 閉会



第1回委員会の様子

### 4案の比較検討の経緯

これまでの4案の比較検討の経緯を整理しました。

